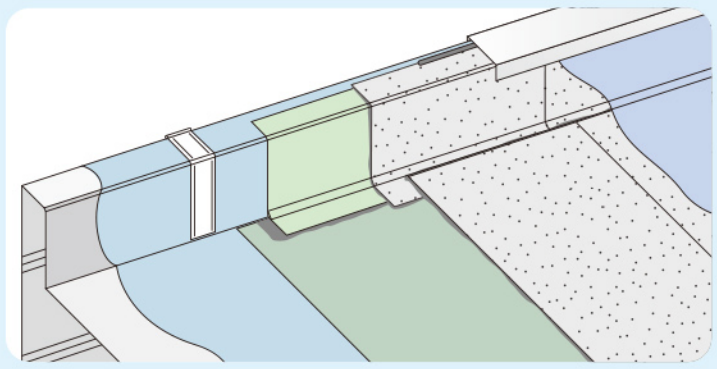
防水層のメンテナンスを行いながら、不具合箇所を早期に発見することが建物を長持ちさせる秘訣です。
皆さまの建物の屋上がどのような劣化状況か、下のチェックリストで診断してみてください。

## Check 2　現状が『露出アスファルト防水面』の場合

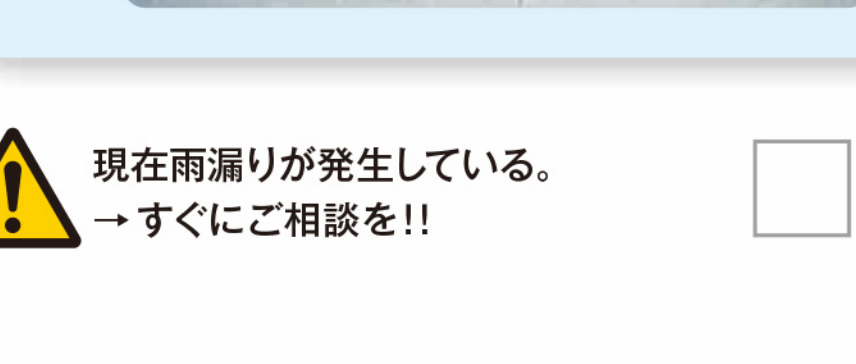
既存露出アスファルト防水のイメージ



現在雨漏りが発生している。
→すぐにご相談を!!　□

**Q1** 防水改修を行わず、13年以上経っている。　□

**Q2** 防水層が破れている。　□


防水層の破断・損傷

**Q3** 防水の重ね合わせ部分（ジョイント）に隙間が開いている。　□

防水ジョイント部の口開き

**Q4** 水溜りが著しい。
植物の生育が見られる。　□

雨水の滞留・植物の生育

**Q5** 床面や立面の防水にふくらんでいる箇所がある。
一部では水が入っているところもある。　□

防水層のふくれ

**Q6** 外周の腰壁面（立上り面）の上面（笠木面）にひび割れが見られる。　□

笠木部のひび割れ

**Q7** 防水立上り端末金物上部のシーリングが硬化している。破断している。　□

立上り端末金物シーリングの破断

**Q8** ドレン部に防水破断が見られる。　□

ドレン周辺部防水層の破断

**判定**

- チェックが1～2項目……点検・清掃をしながら、経過を観察しましょう。
- チェックが3～4項目……要注意です。専門家に防水診断を依頼しましょう。
- チェックが5項目以上……防水改修の必要性が高いと思われます。改修計画の立案を検討しましょう。

防水用語一口メモ　※立上り端末金物とは ： 立上り部に防水層を立上げる際に、重力や経年で防水層がずれ落ちないように端部を固定する金物。通常その上に弾性のシーリング材を充填する。